

北海道浮魚ニュース

平成 23(2011)年度 16 号

2011 年 9 月 13 日

道総研

釧路水産試験場

ホームページ : http://www.fishexp.hro.or.jp/ukiuo/uki_index.htm

道東太平洋マサバ・マイワシ漁期中調査結果

北辰丸(釧路水産試験場調査船)によって行われたマサバ・マイワシ漁期中調査の結果をお知らせします。

調査期間

2011 年 8 月 30 日(火)~9 月 2 日(金)並びに 9 月 8 日(木)~9 日(金)

調査海域および調査点

道東~三陸沖合太平洋海域
(北緯 42 度 00 分~42 度 40 分、
東経 144 度 20 分~146 度 00 分
: 親潮系冷水域および黒潮系暖
水域)における 4 調査点(図 1)。

調査方法

10 種類の目合(22・25mm :
30 間切り各 1 反、29・37mm :
30 間切り各 4 反、48mm : 60 間
切り 2 反、55・63・72・82mm
: 60 間切り各 1 反、182mm :
60 間切り 15 反の流し網を用
いた漁獲試験。

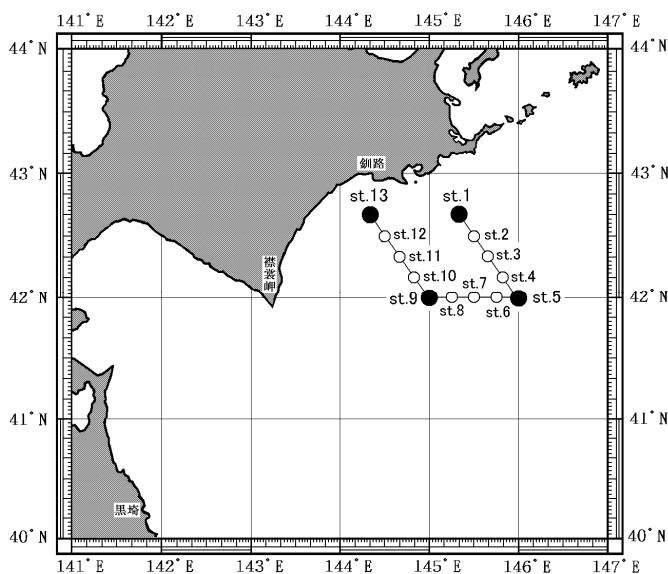


図1 漁獲試験調査点

調査結果

漁獲試験を行った 4 調査点の表面水温は 16.7~22.0 (前年: 17.3~24.9)、50m 層は 4.9~11.8 (前年: 2.1~12.9)、100m 層水温は 2.3~9.9 (前年: 1.4~9.7) でした(表 1)。

表1 水温および魚種別採集尾数

調査地点	st.1	st.5	st.9	st.13	合計
表面水温()	16.7	18.7	22.0	16.8	
50m水温()	7.7	4.9	11.8	9.1	
100m水温()	2.3	2.3	9.9	6.2	
サバ類	794	691		123	1,608
マイワシ		18		3	21
カタクイシ	1	2			3
サンマ	692	6		4	702
スルメイカ	9	10		302	321
アカイカ			4		4

調査点別の魚種別漁獲尾数（表1）および流し網調査1回当たりの漁獲尾数（CPUE）の経年変化（図2、4、6、8、10、11）ならびに漁獲試験で採集された漁獲物体長組成（図3、5、7、9）は以下のとおりです。

・サバ類(マサバ、ゴマサバ)

3調査点で123～794尾、合計1,608尾漁獲されました(表1)。

CPUEは402.0尾/回で、前年の270.3尾/回を下回りましたが、1994年以降では最も高い値を示しました(図2)。

しかし、全国の資源評価によれば、資源水準は依然低い状態にあるものと思われれます。

魚体は尾叉長26～39cm台で、31cm台が主体で、前年(28cm主体)よりも大型でした(図3)。

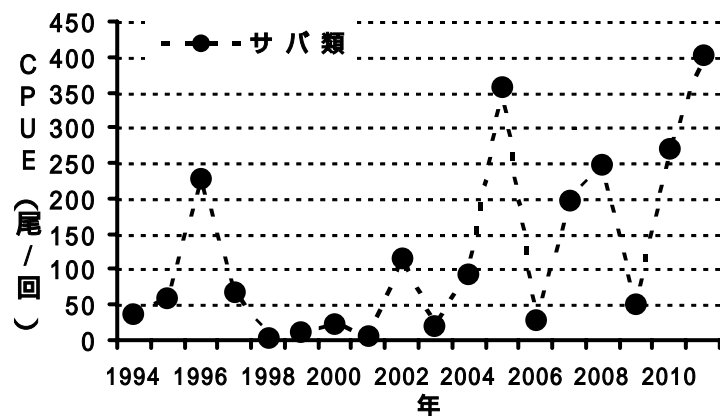


図2 調査1回当たり漁獲尾数(CPUE)の経年変化(サバ類)

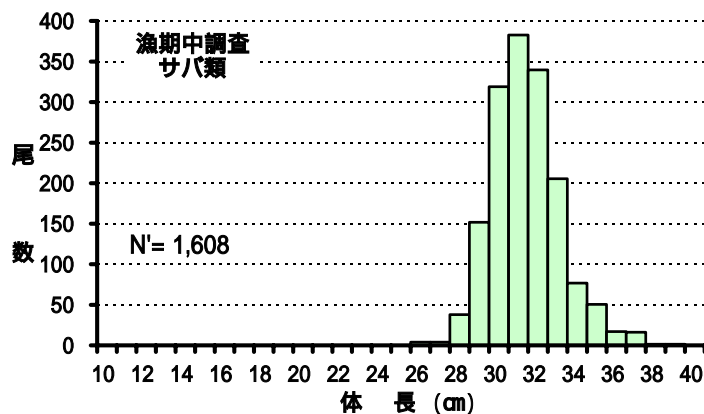


図3 サバ類の漁獲物体長組成

・マイワシ

2 調査点で 3~18 尾、合計 21 尾漁獲されました(表 1)。

CPUE は 5.3 尾/回で、前年の 3.8 尾/回を上回り 1994 年以降では 4 番目に高い値を示しました(図 4)。

しかし、全国の資源評価によれば、資源水準は依然非常に低い状態にあるものと思われま

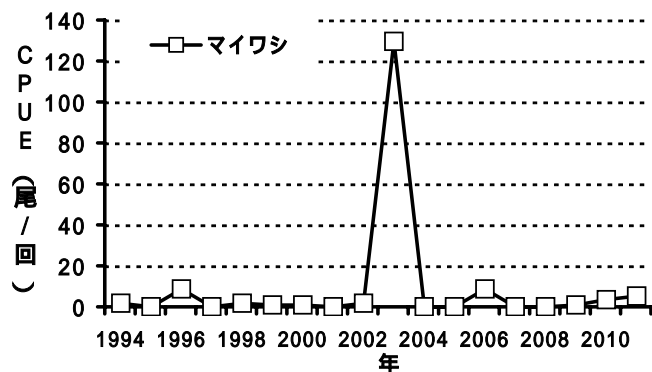


図 4 調査 1 回当たり漁獲尾数(CPUE)の経年変化(マイワシ)

魚体は体長(被鱗体長) 16.0~19.0cm 台と 21.0~22.0cm 台で 17.5cm 前後の個体が主体で、前年(16.0~17.5cm 台と 21.0~22.0cm 台)よりも若干大型でした(図 5)。

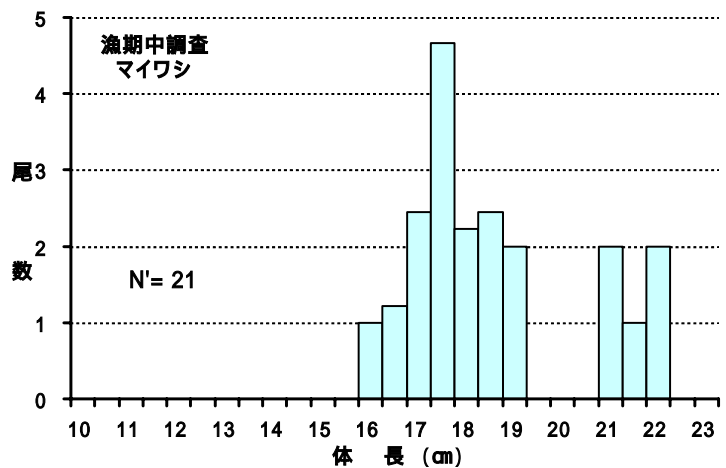


図 5 マイワシの漁獲物体長組成

・カタクチイワシ

2 調査点で 1~2 尾、合計 3 尾漁獲されました(表 1)。

CPUE は 0.8 / 回で、前年の 4.9 尾/回を下回り、1994 年以降では最も低い値を示しました(図 6)。

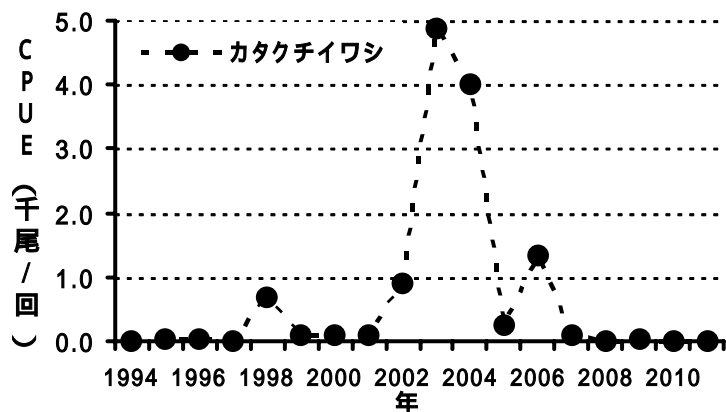


図 6 調査 1 回当たり漁獲尾数(CPUE)の経年変化(カタクチイワシ)

魚体は体長（被鱗体長）10.0cm、11.0cm、13.5cm 台でした（図7）。

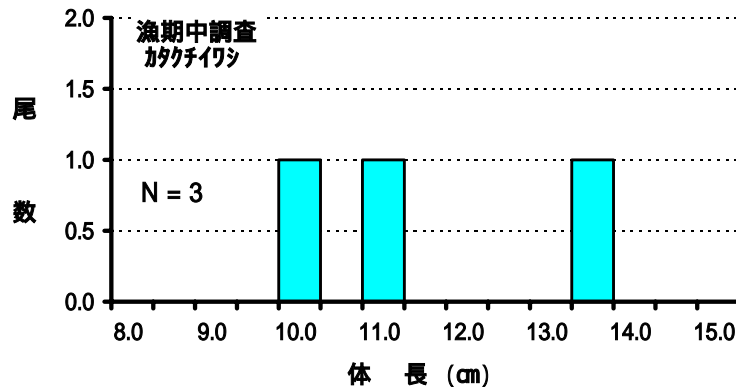


図7 カクチイワシの漁獲物体長組成

・サンマ

3 調査点で 4～692 尾、合計 702 尾漁獲されました（表1）。

CPUE は 175.5 尾 / 回で、前年の 13.5 尾 / 回を上回り、1994 年以降では 7 番目に高い値でした（図8）。

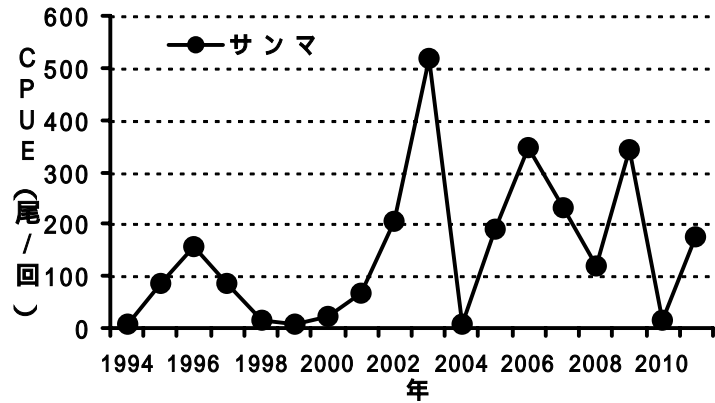


図8 調査1回当たり漁獲尾数(CPUE)の経年変化(サンマ)

魚体は体長（肉体長）21～34cm 台で、25cm 前後の個体が主体でした（図9）。

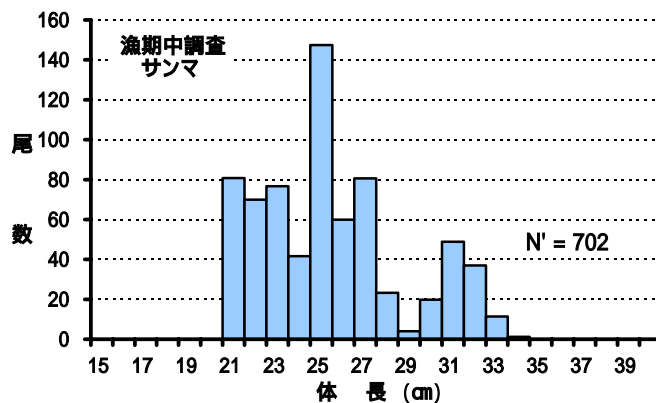


図9 サンマの漁獲物肉体長組成

・スルメイカ

3 調査点で 9～302 尾、合計 321 尾漁獲されました（表 1）。

CPUE は 80.3 尾 / 回で、前年の 17.5 尾 / 回を上回り、1994 年以降では 5 番目に高い値でした（図 10）。

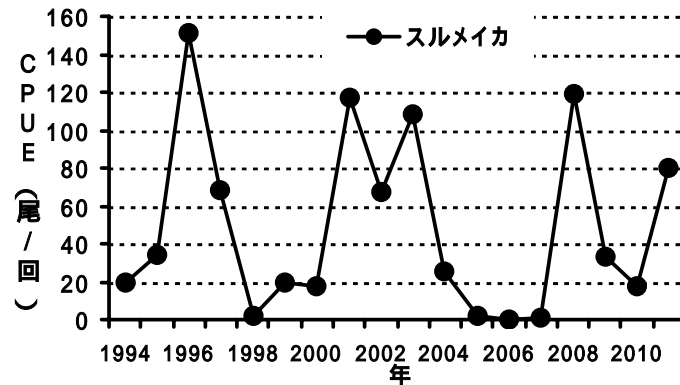


図 10 調査 1 回当たり漁獲尾数 (CPUE) の経年変化 (スルメイカ)

・アカイカ

1 調査点で 4 尾、合計 4 尾漁獲されました（表 1）。

CPUE は 1.0 尾 / 回で、前年の 16.0 尾 / 回を下回りましたが、1994 年以降では最も低い値でした（図 11）。

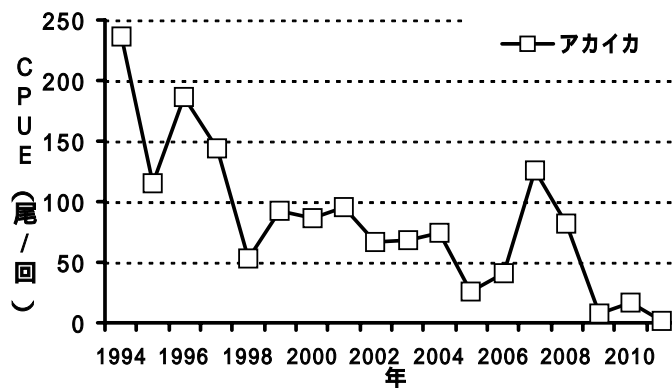


図 11 調査 1 回当たり漁獲尾数 (CPUE) の経年変化 (アカイカ)

(文責：道総研 水産研究本部 釧路水産試験場 調査研究部、
直通電話：0154-23-6222、FAX：0154-23-6225)